

平成 29 年度事業計画の件

本事業計画は定款第 38 条により第 6 回理事会で承認し、内閣府に 3 月 28 日に届け出たものです。届け出後に確定した日程を加筆してあります。

公益社団法人日本栄養・食糧学会 平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）事業計画

<基本方針>

公益社団法人に相応しい、社会に貢献する学術法人として、理事会が中心となって、目的とする公益事業推進のための体制を維持、発展させ、一層の改革を進める。

学会運営としては、さらなる公益事業の推進と財政基盤の安定化のため、税法上の特定公益増進法人であることを生かし、各事業における収入源を確保していく。

公益目的事業の展開のうち、まず栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業として以下を行う。第 71 回年次大会を沖縄県宜野湾市において開催する。これまでの年次大会と同様に特別講演、シンポジウム、国際シンポジウム、医学系学会との合同シンポジウム、市民公開講座等が企画されているが、加えて、当学会設立 70 周年を記念した特別講演を企画、実施する。また一般講演はポスター発表とするが、昨年開始した学生優秀発表賞を授与する制度を継続することとしている。各支部においては、支部大会およびシンポジウム等を、各支部における相応しいテーマで、効率のよい開催方法のもとに関連学会とも連携を図りつつ開催する。

国際的活動については、本年ブエノスアイレスにて開催される第 21 回国際栄養学会議（21st IUNS-ICN）への積極的な参加を促すとともに、平成 33 年に東京での開催が決定している第 22 回国際栄養学会議（22nd IUNS-ICN）の準備を日本学術会議および他学会等との連携のもとに精力的に進める。

栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業の展開については、学会誌、欧文誌の刊行を通して人々の健康・福祉の向上に寄与する。日本栄養・食糧学会誌の定期的刊行を継続するが、学会誌編集業務のさらなる効率化を図る。欧文誌 JNSV においては、日本ビタミン学会と協議しながら、その運営方法を見直し、年度内のペーパーレス化を実現し、欧文誌としての質的向上と財政状況の改善を図り、インパクトファクターの上昇を目指す。

これら事業展開は、各委員会により効率よく進めるものとする。

公益目的事業を維持しつつ、時代の変化に対応していくために、理事会の活動を強化し、当学会の今後の進路を明確にするため、将来構想検討委員会が中心となって、本学会の一層の発展を中長期的に検討することとする。また、利益相反（COI）委員会での検討を基に、当学会に相応しい COI 制度となるように改訂した指針・細則等につき、パブリックコメントを行い、会員の十分な理解を得たうえで、実施に向けての取り組みを進める。

日本栄養・食糧学会技術賞を第 69 回大会より授与しているが、これを定着させ、産官学連携の一層の充実を目指し、公益法人として関連する産業の発展に寄与することを目指した活動を継続する。

以上の基本方針のもとに、下記事項を推進する。

I 学会運営および会員サービスの更なる基盤強化

- 1) 公益法人認定法に基づく公益事業推進体制の充実
- 2) 理事会のガバナンスによる学会運営の着実な実施とコンプライアンスの強化
- 3) 寄付金の積極的受け入れと、寄付金税額控除法人申請準備
- 4) 日本栄養学学術連合への貢献
- 5) 日本栄養・食糧学会技術賞の定着と、産官学連携の一層の強化
- 6) 年次大会における学生優秀発表賞の継続実施と若手会員の支援強化
- 7) 当学会に相応しい利益相反（COI）指針・細則等の制定及び実施体制の検討と実施
- 8) 年次大会における国際シンポジウム、医学系学会との合同シンポジウムの継続的開催
- 9) 大会講演要旨集の Web 公開の定着とデータの蓄積

II 各種事業活動の推進

<栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公 1）>

1) 大会事業の推進

- (1) 第 71 回日本栄養・食糧学会年次大会の開催

会頭 山田 耕路 崇城大学教授

期日 平成 29 年 5 月 19 日（金）～5 月 21 日（日）

会場 沖縄県宜野湾市沖縄コンベンションセンター

①70 周年記念特別講演	4 題	②国際シンポジウム	1 テーマ
③医学系学会との合同シンポジウム	1 テーマ	④特別講演	4 題
⑤教育講演	4 題	⑥シンポジウム	21 テーマ
⑦市民公開講座	1 テーマ		

(2) 支部事業（発表・講演会・シンポジウム等）の推進

①北海道支部

- i) 第 47 回日本栄養・食糧学会北海道支部大会
期日 平成 29 年 10 月～11 月頃を予定
会場 未定
- ii) 公開シンポジウム
期日 平成 29 年 10 月～11 月頃を予定
会場 未定

②東北支部

- i) 第 50 回日本栄養・食糧学会東北支部大会
期日 平成 29 年 10 月 14 日（土）、15 日（日）
会場 弘前市民文化交流館ホール（青森県弘前市），弘前大学
- ii) 公開シンポジウム
期日 平成 29 年 10 月 14 日（土）
会場 弘前市民文化交流館ホール（青森県弘前市）

③関東支部

- i) 第 100 回日本栄養・食糧学会関東支部大会（記念大会）
期日 平成 29 年 9 月～10 月頃を予定
会場 東京農業大学（案）
- ii) 第 101 回日本栄養・食糧学会関東支部大会：未定
期日 平成 30 年 2 月～3 月頃を予定
会場 東京慈恵会医科大学（案）
- iii) 第 20 回脂質栄養シンポジウム
期日 平成 30 年 1～2 月予定
会場 未定

④中部支部

- i) 第 72 回日本栄養・食糧学会中部支部大会
期日 平成 29 年 7 月 8 日（土）
会場 岐阜大学応用生物科学部
- ii) 第 73 回日本栄養・食糧学会中部支部大会
期日 平成 29 年 11 月 25 日（土）
会場 岐阜大学応用生物科学部

⑤近畿支部

- i) 若手活動支援事業（栄養学を志す若手のためのフォーラム）
期日 平成 29 年 12 月上旬（予定）
会場 龍谷大学アバンティ響都（JR 京都駅前）（仮）
日本栄養改善学会近畿支部共催
- ii) 平成 29 年度日本栄養・食糧学会近畿支部大会
期日 平成 29 年 11 月 18 日（土）
会場 龍谷大学（滋賀）
- iii) 若手活動支援事業（近畿支部若手奨励賞）
期日 平成 29 年 11 月 18 日（土）
会場 龍谷大学（滋賀）

⑥中国・四国支部

- i) 市民公開講座
期日 平成 29 年 11 月 11 日（土）
会場 鳥取大学農学部
- ii) 第 50 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会
期日 平成 29 年 11 月 12 日（日）
会場 鳥取大学農学部

⑦九州・沖縄支部

- i) 平成 29 年度日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部大会
期日 平成 29 年 10 月 28 日（土）～29 日（日）
会場 長崎県立大学
日本食品科学工学会西日本支部との合同支部大会

2) 表彰事業の推進

- (1) 平成 29 年度表彰授与式開催（平成 29 年度総会時）
功労賞 3 件、学会賞 3 件、奨励賞 3 件、技術賞 2 件
学生優秀発表賞 10 件（大会中に決定）
- (2) 平成 30 年度対象各賞選考の実施
各種授賞等選考委員会開催（平成 29 年 12 月）
功労賞 3 件以内、学会賞 3 件以内、奨励賞 3 件以内、技術賞 2 件以内の推薦
- (3) 外部団体への授賞推薦の推進
年間スケジュールの公開と更新の実施

3) 助成・助成推薦事業の推進

- (1) 支部大会事業活動の支援
- (2) 基金交付対象の選考の推進
- (3) 外部団体への助成推薦の推進
学会誌等へ掲載しその公示をタイムリーに行う。

4) 栄養・食糧科学に関する研究・調査事業

- (1) 栄養成分表示・栄養教育の検討
栄養成分表示の現状・動向・普及啓発を調査する。
第 71 回大会でシンポジウムを行う。
- (2) 栄養・食糧学用語に関する検討
学術用語の管理を行う。
栄養・食糧学用語辞典（第 2 版）における見出し語ならびに説明文の検証を引き続き行う。
用語の修正・新規収録を検討し、ホームページへの掲載を目指す。

5) 国際交流事業の推進

- (1) Federation of Asian Nutrition Societies (FANS) 事務局としての業務
- (2) International Union of Nutritional Sciences (IUNS) 関係
日本学術会議 IUNS 分科会と連携し、第 22 回国際栄養学会議（22nd IUNS-ICN2021 東京）の準備体制を整えるとともに
第 21 回会議（21st IUNS-ICN2017 アルゼンチン）でその準備状況の報告を行う。
第 21 回会議（21st IUNS-ICN2017 アルゼンチン）でのシンポジウムを実施する。
- (3) International Union of Food Science and Technology (IUFoST) 関係
IUFoST Japan と連携しその事業を支援する。
- (4) 第 71 回大会での国際シンポジウムの実施、第 72 回大会での国際シンポジウムの企画
- (5) 海外関連学会との連携
国際学術団体との連携を図る。

6) 倫理審査事業の推進

- (1) 迅速な審査体制の確立と実施

< 栄養科学並びに食糧科学の情報の活用推進と普及事業（公 2） >

1) 出版事業の推進

- (1) 日本栄養・食糧学会誌の刊行
第 70 巻 2 号～6 号、第 71 巻 1 号を定期的に刊行する。
- (2) Journal of Nutritional Science and Vitaminology (JNSV) の刊行
日本ビタミン学会との共同編集で、Vol. 63-No. 2～No. 6、Vol. 64-No. 1 を定期的に刊行する。
各国の関連学会との連携を強化しつつ、欧文誌としてさらなる国際化を図る。
ペーパーレス化の作業を進めていく。

2) 広報事業の推進

- (1) 会員向けメールマガジン栄食ニュースの充実と定期発信
- (2) 関連学術団体、関連機関との連携及び依頼記事の広報推進
- (3) ホームページの告知・掲載記事に関し、确实、迅速な更新の実施

Ⅲ 総会、理事会等の開催（予定）

1) 定例社員総会	定例社員総会	平成 29 年 5 月 19 日（金）
2) 理事会	第 1 回理事会	平成 29 年 4 月 16 日（日）
	第 2 回理事会	平成 29 年 5 月 18 日（木）
	第 3 回理事会	平成 29 年 7 月 9 日（日）
	第 4 回理事会	平成 29 年 10 月 29 日（日）
	第 5 回理事会	平成 30 年 1 月 28 日（日）
	第 6 回理事会	平成 30 年 3 月 24 日（土）
3) 業務執行理事打合せ	第 1 回業務執行理事打合せ	平成 29 年 7 月 2 日（日）
	第 2 回業務執行理事打合せ	平成 29 年 10 月 7 日（土）
	第 3 回業務執行理事打合せ	平成 30 年 1 月 6 日（土）
	第 4 回業務執行理事打合せ	平成 30 年 3 月 10 日（土）
4) 栄養・食糧懇談会		平成 30 年 2 月 10 日（土）
5) 名誉会員・終身会員推薦委員会		平成 30 年 1 月 6 日（土）
6) 名誉会員・顧問懇談会		平成 29 年 4 月 8 日（土）
7) 各支部の参与会		支部大会にて

Ⅳ 委員会活動

1) 常置委員会		
①各種授賞等選考委員会		(規程により委員は非公開)
②学会活動強化委員会		(委員長 宇都宮 一典)
③倫理審査委員会		(委員長 宇都宮 一典)
④国際交流委員会		(委員長 加藤 久典)
⑤学会誌編集委員会		(委員長 松井 徹)
⑥広報委員会		(委員長 池田 彩子)
⑦用語委員会		(委員長 松井 徹)
⑧将来構想検討委員会		(委員長 下村 吉治)
2) 非常置委員会		
①栄養成分表示・栄養教育検討委員会		(委員長 山田 和彦)
3) 定款第 35 条 2. による委員会		
①中央選挙管理委員会		(委員長 田中 清)
②利益相反 (COI) 委員会		(委員長 長岡 利)
4) 日本ビタミン学会との合同委員会		
①JNSV 編集委員会		(委員長 金沢 和樹)